



2017年 1月号

スマートフォンサイトへ行く 携帯サイトへ行く

曙図書館だより



本の検索などができます。

1月のぎょうじ

★たのしいおはなし会 <午後2時30分～ 1階 おはなし室>

- 7日(土)「おめでとうおひさま」ほか
- 14日(土)「ゆきおとこのバカンス」ほか
- 21日(土)「あるくてぶくろ」ほか
- 28日(土)「トッケビとどんぐりムク」ほか

※読み聞かせの会「わらび」さんのたのしいおはなし会

★こどもえいが会 <午後3時5分～ 2階 第1集会室>

- 7日(土)「王様の耳はロバの耳」ほか
- 21日(土)「したきりすすめ」ほか



1月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1 ★休館日	2 ★休館日	3 ★休館日	4	5	6	7 おはなし会 子どもえいが会
8	9 成人の日	10	11 ★休館日 施設点検日	12	13	14 おはなし会
15	16	17	18	19	20	21 おはなし会 子どもえいが会
22	23	24	25 ★休館日 図書整理日	26	27	28 おはなし会
29	30	31				

開館時間(利用時間)

- 月・金・土・日・祝日
⇒午前9時15分～午後5時
- 火・水・木
⇒午前9時15分～午後7時

休館日

- ★第2・第4水曜日(施設点検日・図書整理日)
- ★蔵書一斉点検期間
- ★年末年始(12/29～1/3)

札幌市曙図書館 札幌市手稲区曙2条1丁目2-50

☎ 685-4946

<http://www.city.sapporo.jp/toshokan/>



新刊案内

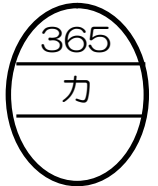
最近、曙図書館に入った本を紹介します

●●●一般書●●●

家族で地方移住、はじめました。

★365 カ 移住ライフ研究会編

定年後に田舎暮らしというのではなく、20～40代の地方移住が増えているそうです。現役で働ける世代の移住です。インターネット環境さえあれば、どこでも仕事ができる時代になったともいえますが、実際に踏み切るとなれば、それなりの準備と心構えが必要でしょう。この本では地方でお店を出した人、農家民宿を始めた人、エコツアーガイドを離島で営む人など、さまざまな職についた移住者たちの生活が、メリットはもちろん、デメリットも合わせて紹介されています。巻末には「地方移住に役立つ支援制度ガイド」もあり。住宅支援、子育て支援、起業支援などに手厚い自治体が、その支援額とともに掲載されています。新年に新天地で心機一転！という選択も、ありかもしれませんよ。

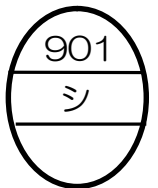


詩、ってなに？ コト・バを・ア・ソ・ベ！Vol.2

★901 シ 平田俊子(ひらた としこ)編

利益、損得、効率ばかりが求められる社会では、「詩」というものは、役に立たないものの筆頭かもしれません。が、しかし、この生きづらい世の中で、それでも生きていかななくてはならない者の心に、どうやら「詩のコトバ」というのは「ささえ」や、「なぐさめ」や「滋養」になるらしいのです。

本書では、詩人・小説家・戯曲家・エッセイストでもある平田俊子が、詩の特訓をしてくれています。歌人の穂村弘と、日本を代表する詩人谷川俊太郎が共同制作する連詩のセッションも収録されています。俳優、佐野史郎と平田俊子の対談も載っていますし、有名無名の45人の詩がまた圧巻です。読んだら、詩が書きたくなります。たぶん。いやきっと……。

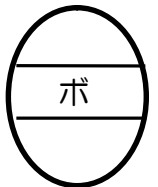


●●●絵本●●●

ぼくはイスです

★J ボ 長新太(ちやう しんた)著

イスだってなにかにすわってみたい……のかあ。そんなイスがあってもまあいいのかもしれませんが。イスは黙ってこしかけられていればいいんだ！なんて冷たいことはけっしていわない長新太。平等です。発想がどこまでも自由です。こんな荒唐無稽なおはなしにも、なぜだか説得力があります。肩の荷をおろしたいおとなの方にも、こころやすまる絵本です。(ほんと、日本は惜しい方を亡くしました……)



SAPPORO

本を持ち運びの際には、雪などで濡れないようにバッグやビニール袋に入れてくださるようお願いいたします。



さっぽろ市
02-S03-15-2049
27-2-1172